

務局の男性は、「アンケートの回答には、大変楽しい、勉強になるという声が多い。若い事務員さんにとっては職場で聞けない話を聞けるし、年配者にとっても若い人の考え方を聞けるので、大変意義のある活動」と語っている。

は1m、厚さ1.2㎢。タディスシリーズではこのほか、遮熱機能が付

いた「タディスクール」、野地板に貼った直後であれば貼り直しが可能な粘着型製品「タディスセルフ」がある。他にも合成繊維不織布とガラス繊維の層で構成される高耐久品「タディスブラック」、製品表面をエンボス加工して凹凸をつくり、横棧木を浮かせて瓦裏に回った雨水を軒まで排水する「タディスブラッサム」など、多様な機能を持つ商品を揃えている。

外国人瓦葺きも実習5年に厚労省らが審査基準公表

厚生労働省と法務省は現在、昨年11月に公布された「外国人の技能実習生の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律」に基づき、今年11月1日から新たな外国人技能実習制度に移行するための準備を進めている。新制度では「優良な実習実施者・管理団体」に対して「第3号技能実習生」(4〜5年目の実習)の受け入れが認められる。新制度に移行する職種は74職種133作業。かわらぶき職種かわらぶき作業も含まれている。また新制度では、最初の1年を1号実習、2〜3年目を2号実習、4〜5年目を3号実習としていて、その間にそれぞれ「技能実習評価試験」に合格することが目標とされるが、このほどかわらぶき作業の審査基準も公表された。

審査基準は作業内容を

示すものであり、試験の課題や評価基準とは異なるが、「第3号技能実習」では段取り作業として①瓦の選定②現場寸法取り③瓦の割り付け④図面に基づく寸法どり、また瓦葺き作業として①一文字など特殊瓦を除く瓦合わせ作業②緊結を含む瓦の葺き上げ作業が必須作業とされた。なお新制度で4年目以降の実習を行うには、「1

着型製品「タディスセルフ」がある。他にも合成繊維不織布とガラス繊維の層で構成される高耐久品「タディスブラック」、製品表面をエンボス加工して凹凸をつくり、横棧木を浮かせて瓦裏に回った雨水を軒まで排水する「タディスブラッサム」など、多様な機能を持つ商品を揃えている。

このほか新制度では、実習生を派遣する国と政府間で取り決めを行ったり、管理団体を許可制に、実習実施者は届出制にして義務や責任を明確にする。

一方で地域限定の職種も外国人実習生受け入れの門戸が開かれた。

同セミナーは、JIS規格改正を受けた広報の一環として初開催。杉田会長のおいさつ、高畑晴一技術部長による概要説明、国土技術政策総合研究所の宮村雅史主任研究官による「各種下葺材の防水性と下地の乾燥について」、東洋大学の土屋喬雄名誉教授による「屋根下葺き材としての透湿ルーフィングの意義について」の講演を行った。

五輪の影響、早くも世田谷の瓦PR

東京都瓦工事職能組合は世田谷支部(岩崎一夫支部長)を中心に、8月5、6日に行われた第40回「せたがやふるさと区民まつり」に参加し、屋根の無料相談コーナーを設けるなどしてPRした。東京五輪で馬術競技が行われるため、同催事が毎年行われてきた馬事公苑は2022年まで休苑。今年は世田谷区役所周辺で行われた。このため都工事組合も、今年は規模を縮小して出展したが、区民まつり自体は「10万人」(主催者)の人数があり盛況だった。

うちわ500本配布
奈良組合「屋根の日」
奈良県瓦工事業協同組合(澤健太郎理事長、35社)は8月5日、近鉄奈良駅前で「屋根の日」のPRを実施、全瓦連のうちわ500本を配布した。

当日は、工務店や設計事務所から約60名が参加した。

瓦の付く漢字

読み方は「タ」「タ」。意味は「瓦で作ったわん」。※参考文献「諸橋徹次著「大漢和辞典」(大修館書店)

CERA-MOUNT  SANSYU NOYASU

良い瓦を選ぶ、それは良い人生を選ぶこと。